

こんにちは婦人会「さくら」です

春が来た～春が来た～。。。暑さ寒さも彼岸までと言われておりますが、ようやく春の足音が聞こえてきました。そろそろ桜の便りも聞こえており、開花予想は今月末頃の様子ですよ。先日、春の日差しに誘われて身の程を考えず薄着で出かけたなら、夕方の空気が思いのほか冷たく、すっかり風邪をひいてしまいました。皆様も昼夜の寒暖差に風邪などひかれませぬようご自愛ください。

～婦人会・暮らしのエッセンス～

芳しい春の香りです。我が家の庭の隅にある沈丁花の花が咲きました。早速インターネットで調べてみました。中国原産で、日本には室町時代に渡来し栽培されていたようです。花芽は、前年の秋にはできているが咲き出すまでに寒い中、3か月以上花芽のまま過ごす。香りは^{じんこう}沈香という香りに似ており、葉の形が^{ちょうじ}丁子という植物に似ていることから沈丁花になったそうです。日本にある木は殆どが雄株で、雌株は殆どみられない。丸く赤い果実をつけるが有毒がある。枝の繊維は紙の原料になり、花の煎じ汁は歯痛、口内炎などの民間薬として使われたそうです。 「淡き光り立つ俄雨 いとし面影の沈丁花 あふるる涙の蕾から ひとつひとつ香り始める・・・」松任谷由美「春よ来い」の歌詞より



「沈丁花 いまだはさかぬ葉がくれの くれなゐ蕾 匂ひこぼるる」若山牧水

インターネットより引用



桜台婦人会「さくら」
平成26年3月24日
第146号

